

## 令和3年度 学校経営計画書

石川県立小松商業高等学校

校長 山本 民夫

### 1 教育目標

- ① 「学力向上」、「健康増進」を図る。
- ② 「誠実」にして、「明朗」で「進取」の気風を養う。
- ③ 「自主的」にして「社会性」豊かな情操を培う。
- ④ 「専門的技術」の習得・錬磨に努める。

### 2 教育方針

- ① 基本的生活習慣の確立を図り、確かな学力を備えた人物の育成を目指す。
- ② 気力・体力・知力をバランス良く兼ね備えた人物の育成を目指す。
- ③ 適切な勤労観・職業観を持ち、意欲的に問題解決に取り組む人物の育成を目指す。
- ④ 地域社会との連携を推進し、ふるさとを愛し、広く世界に貢献できる人物の育成を目指す。
- ⑤ 地元産業界との連携を図り、起業家精神を醸成し、地域から信頼される人物の育成を目指す。

### 3 中・長期的目標 …… 未来を拓く商業高校 ”創立100周年に輝く“学校づくりを目指す

#### (1) 学校の現状

- ① 高度な資格取得・部活動の奨励・挨拶マナーの励行を教育活動の三本柱とし、グローバル社会に対応する人づくりに努めている。
- ② 資格取得状況及び部活動でも運動部を中心に成果を上げており、「遅刻者ゼロ150日運動」を継続している。学校全体での目標は、概ね達成している。さらに質の高いあいさつ等を求めている。
- ③ 地域から商業の専門高校としての役割が期待されている。今後も教育活動の理解と、入学志願者の増加を図る活動が必要である。
- ④ 確かな学力と基礎学力の定着を図るための授業の工夫・改善を進め、家庭学習の定着や学習意欲の向上を図る指導を強化する。
- ⑤ 検定取得は全国商業高校の上位にランクしている。更に高度な、税理士試験・情報処理試験等の国家試験や日商簿記1級の合格を目指している。
- ⑥ 「部活動の奨励」や「1校1プラン運動」により体力・気力、協調性など、体力と精神力の向上がみられている。
- ⑦ 進路では、専門高校として地元産業界への人材育成の役割を担い、地元からの信頼を得ている。進学では、専門性を生かした進学先の開拓をさらに推進する必要がある。

#### (2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 明朗快活な人物の育成を目指し、「挨拶の励行」を実践する。
- ② 高度な資格取得を奨励するとともに、スペシャリストの育成・起業家精神の醸成を目指す。
- ③ 健康で健全な人物の育成を目指し、自信と誇りを持てるよう「部活動の奨励」を図る。
- ④ 基本的生活習慣の確立した人物の育成を目指し、「遅刻者ゼロ運動」や欠席者減少に向けた指導を継続的に推進する。
- ⑤ 教養・マナーを兼ね備えた社会人の育成を目指し、「読み・書き・計算力の向上」の取り組みを継続する。
- ⑥ 国際化・情報化社会に対応できる「生きる力」を育成する。

#### (3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 専門高校の役割とその教育活動を理解し、保護者や地域社会に対し様々な機会に情報発信・説明し、信頼される学校づくりを推進する。
- ② 「学びの力」向上アクションプランによる確かな学力と基礎学力の定着を図るため、ICT活用による言語活動の充実など指導法の工夫・改善に努め、研究授業や授業見学を積極的にに行い指導力の向上に努める。
- ③ 生徒一人々の伸長に対応するため、積極的に研修に参加し、指導者としての意識改革と資質向上を図る。
- ④ 明るく元気なあいさつや部活動などに意欲的に取り組み、学校全体の活性化に努める。
- ⑤ 教職員すべてが業務改善に対する意識を高め、生徒への指導時間の確保に努める。

### 4 今年度の重点目標

- ① 【進路希望の実現】 進路ガイダンスや企業実習などのキャリア教育の充実を図る。進路希望に応じたきめ細やかな学習指導により、生徒の進路実現を達成する。
- ② 【社会人基礎力と人間力の育成】 基本的生活習慣を基盤に、基礎学力と専門知識の習得を図り、これらを生かすことのできる社会人基礎力の育成を目指す。学校行事や部活動の活性化を通じ、将来の社会人としての人間力を育成する。
- ③ 【学びの質の向上】 主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善を進め、生徒の思考力・判断力・表現力を育成する。GIGAスクール構想の実現に向け、ICT活用を促進する。
- ④ 【開かれた学校作り】 商業高校として地域社会との連携を図り、地域の活性化に貢献する。学校の教育活動を、保護者をはじめ中学校や地域に積極的に情報発信し、開かれた学校作りを推進する。
- ⑤ 【効果的・効率的な学校運営】 新型コロナウイルス感染症と共生するなかで、校務の効率化・平準化を実現し、時間外勤務の削減を行う。